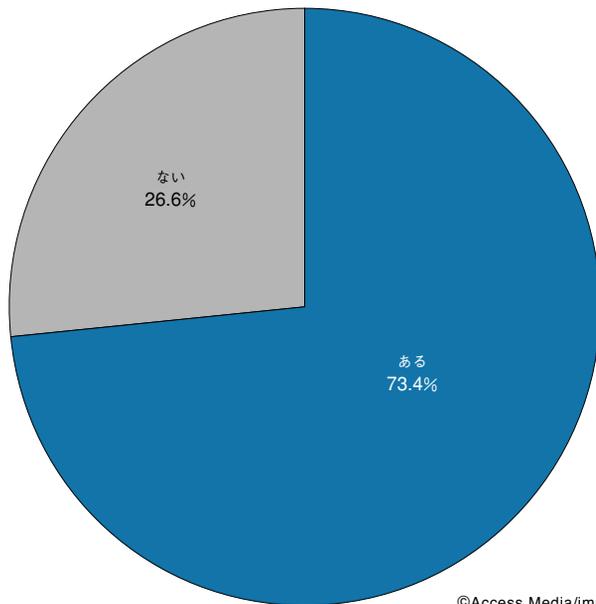


【ニュースサイト】

ニュースサイト利用率は73.4%、速報性が高利用率の理由

資料2-6-9 ニュースサイトの利用の有無 N=3,350

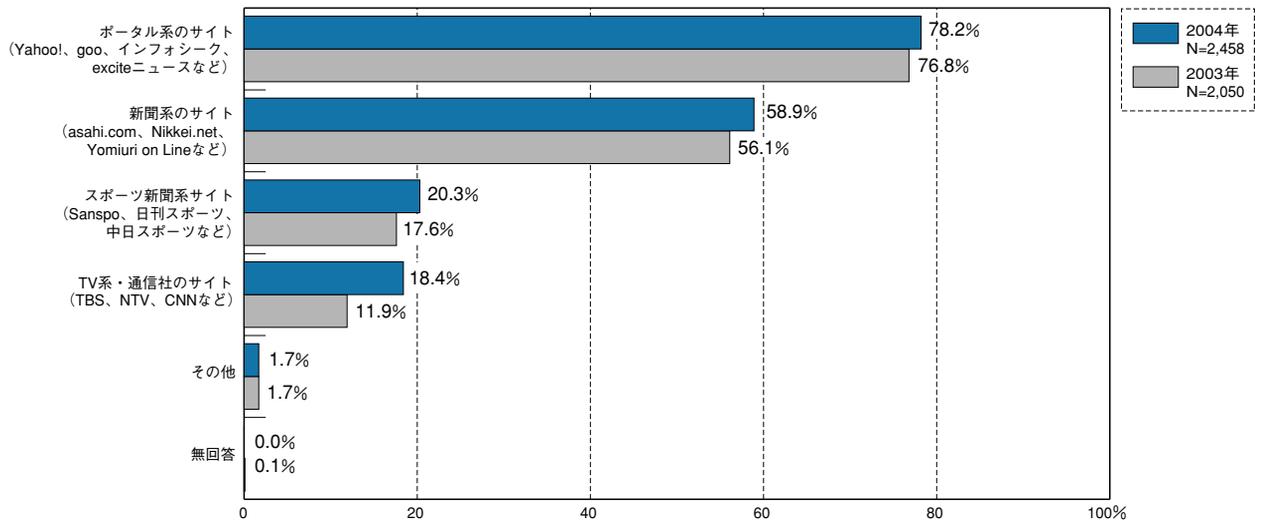


ニュースサイトは73.4%の利用者が閲覧しており、インターネット技術を駆使した速報性という意味では、テレビやラジオのメディアよりも詳細情報を早く知ることができるため、利用率が高いのは頷ける結果である。年代別では、10代、70代の利用率が低く、これはほかの年代と比較すると時間的に余裕があるため、インターネットのニュースよりは、新聞、テレビ等ほかのメディアから情報を入手していると推測される。

©Access Media/impress,2004

ポータル系サイトと新聞系サイトが高利用率

資料2-6-10 よく利用するインターネットのニュースサイトの種別 (2003年-2004年)



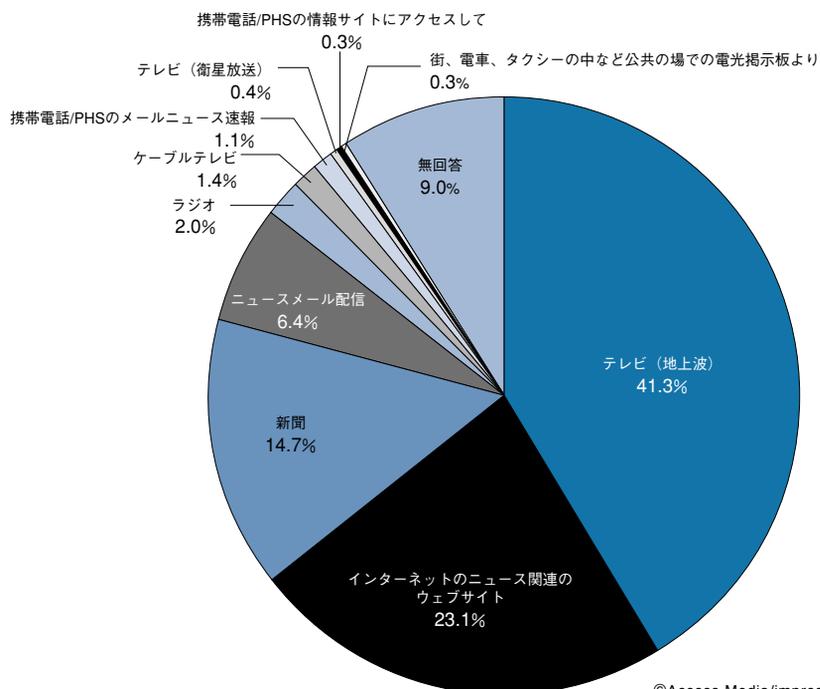
©Access Media/impress,2004

ニュースサイト利用者2,458サンプルのよく利用するニュースサイトは、「ポータル系のサイト」と「新聞系のサイト」であった。1位のポータル系サイトについては、情報検索、メッセージ、チャットなど複数のサービスを利用する際にアクセスするため、トップページに掲載される速報を見てから詳細情報を閲覧する機会が多く、利用率が高いのではないかと推測される。

## ニュースサイト

### テレビは速報性が評価され41.3%、インターネットは23.1%で2番目

資料2-6-11 ニュースを手に入れるために利用頻度の高いメディア N=3,350



©Access Media/impress,2004

利用頻度の高いメディアは、「テレビ」(41.3%)、「インターネットのニュース関連のホームページ」(23.1%)で、速報性が高いメディアが上位を占めた。年代別では、20代が「インターネットのニュース関連サイトのウェブサイト」、50代、60代が「新聞」、30代と70代が「テレビ」の利用率が相対的に高いのが特徴として挙げられる。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)